

平成30年10月25日(木)

模擬試験

毎週模擬試験の嵐である。進研模試、全統模試、駿台模試、大学別模試等々毎週繰り返し戦いの本番の準備を進めている。大切なことは、模試のその日のうちに問題を見返して、正解を確認し、この考え方にたどり着く道筋を確認していくことである。結果は、1ヶ月後に帰ってくるが、結果を待っているのは遅いのである。

それに、模試の判定は、その時期の母集団と昨年度までのデータの集積による予想点を基にしたあくまでも予想でしかないので、AだとかEだとか、判定に一喜一憂する必要はない。あくまでも、戦いの日は1月19日、20日であり、2月25日、26日であるのであって、そこまでどのような道筋をたどるかが重要なのである。

まさに、君子は豹変するのである。三日経つと受験生は大きく変容して刮目するものなのである。いつまでも生まれられない子供はいないのであって、きちんと温めた知識は花開くのである。遅い人は、一月になってからという人もいるのである。しかし、いったん花開くと、あれよあれよという間に人は伸びていくのである。

いままでも、何人もが大きな変容を遂げてきたのをこの目で見してきた。しつこいくらい執着して、毎日を肥やしにしていく生徒は山ほどいたし、これからもたくさん生まれるのである。

大切なのは、焦らないこと。周章^{まわ}てないこと。諦めないこと。明日を信じることなのである。

センター試験が終わってからは、必ず朝一番から学校に通うべし。あくまでも受験は団体戦なので、同じ教室で勉強する中で助かることは山ほどあるのだ。一人でいると妥協することも、絶対妥協できなくなるし、学校には先生がいるので、分からないところをすぐに質問できる。丸1ヶ月通う者は、必ず大きな変容を遂げていくのだ。ポケモンが進化していくように、大きな進化を遂げて、最終進化形になって卒業して行ってほしい。

君たちは、ポケモンの歌を歌えるか。小さい頃覚えた者は忘れないで残っているだろう。今、学習していることは、一生必ず長期記憶に残っていくのだ。

戦う者よ、幸せあれかし。学習に励む者よ、栄冠が必ず訪れる。未来への扉はこじ開けるものだ。栄冠は自らがつかみ取るものだ。

花は必ず咲く。磐城の大きな花が咲く。